

維持管理・環境管理専門委員会の活動

【目次】

1. H31年度の維持管理活動計画（案）について・・・ P3
2. H31年度以降の工事について・・・・・・・・・・ P9
3. マーケットリサーチについて・・・・・・・・・・ P25

【ご注意】

本資料は、生態系保護の観点から生物の位置に関わる情報などは非表示としています。
ご了承下さい。

活動報告概要

- 第48回協議会(平成30年10月16日)以降、維持管理・環境管理専門委員会(第33回、第34回)、H31年度の維持管理活動計画検討のための巡視を実施しました。
- H31年度の維持管理活動計画(案)の検討、H30年度の工事実施状況の確認、H31年度の工事の検討、マーケットリサーチについて協議を行いました。

会議

第33回※
平成30年11月15日 9:30~11:30



場所：上尾市文化センター

第34回
平成31年2月7日 13:30~15:30



場所：上尾市文化センター

巡視

平成31年2月6日 9:00~16:00



場所：太郎右衛門自然再生地

※イベント実行委員会と合同開催

1. H31年度の維持管理活動計画（案）について

H31年度の維持管理活動計画（案）

- H31年度は、基本的にH30年度と同様の維持管理活動を継続するとともに、不足した部分や新たに必要な作業を追加します。
 - 上池モトクロス場跡地整備地のハリエンジュの伐採が2回では現状維持に留まるため、春～初夏に2回と秋に1回の計3回とします。
 - 上池モトクロス場跡地整備地のH30年度の調査結果では、アレチウリの侵入が顕著だったため新たに管理対象とし、種子をつける前の秋に1回実施します。
 - 中池の通路および広場等は、オオバタクサやクズ等の繁茂が著しかったため、年4回（秋イベントを含めて5回）実施します。
 - H30年度に看板を設置したことから、これらの周辺を除草する必要があるため、年2回実施します。

<H31年度の維持管理計画と対象箇所>

※表中 赤文字はH31年度からの維持管理項目、黒文字はH30年度までの実績を継続、紫文字は微変更

地区・管理対象		維持管理		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実施方針	
上池	旧流路整備地	①呑み口	周辺の除草：5～6月の2回		中旬	下旬										H31は実施なし	
		②導水路	通路付近の除草：5～6月と10月の2回 計40m（通路両側各20m）			●任意					●任意						②は企業依頼方針
		③整備地	植生管理（オオカワヂシャの除去等）：5月1回		15日（水）	← 少人数で実施											協議会実施
	モトクロス場跡地整備地	④通路	管理用通路の除草（5～6月、10月）モトA周囲			●					●						本田航空が実施
		⑤柵	周辺の除草：5～6月の2回		中旬	下旬											H31は実施なし
		⑥-1 整備地	植生管理（オオカワヂシャの除去等）：5月1回			●											生物調査員が実施
	⑥-2 整備地（旧⑥-2と⑥-3を統合）	植生管理（オオバタクサ、アレチウリ、セイタカアワダチソウ、シンジュ、ハリエンジュ、クワ、在来つる性植物（カナムグラ・クズ）の除去等） モトA・モトD全般等 ：4月・5～6月・9月・11月（H30実績ベースで2回から4回に変更、実施月も微変更）	17日（水） シンジュ・ハリエンジュ		19日（水） ハリエンジュ	← 22日の下池イベント下見も実施			25日（水） アレチウリ		13日（水） ハリエンジュ					協議会実施	
中池	河畔林	⑦保全エリア・通路	植生管理（オオバタクサ、シンジュ、クワ、在来つる性植物（カナムグラ・クズ・ツタ類）の伐採） ：4月・5～6月・9月・10月（H30実績ベースで2回から4回に変更、実施月も微変更）	17日（水）	15日（水）				25日（水）		17日（木） 19日（土） （イベント）					協議会実施	
下池	ハンノキ移植地	⑧実施計画範囲	移植したハンノキ周辺のつる性草本、シンジュの除去：5～6月と12月（9月から変更）							22日（土）	← ミドリシジミ観察イベント			11日（水）	← 14日のイベント下見も実施	協議会実施 6月22日はミドリシジミ観察イベント	
全体	⑨看板	看板周辺の除草：5月・9月			15日（水）	← 18日イベント前			25日（水）							協議会実施	
	維持管理検討のための巡視	巡視ルートを巡視し、維持管理活動の内容を検討する。											22日（水）	← 1月中に実施		協議会実施	

※参考：H31年度のイベントスケジュール

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
6日（土）（予備日7日（日）） ：3地区合同イベント 29日（祝・月）【仮】 ：かわしま輪中WG	12日（日） ：おげがわ春のふれあいフェスタ 18日（土） ：散策・写真撮影イベント①（上池）	22日（土） ：ミドリシジミ観察			28日（土） ：散策・写真撮影イベント②（中池）	19日（土）（予備日20日（日）） ：秋イベント	23日（祝・土） ：川島町農業商工祭	14日（土） ：散策・写真撮影イベント③（下池）			

H31年度の維持管理活動計画（案）

④上池モトクロス場跡地A整備地
周辺の管理用通路の除草
:本田航空が実施

⑥-2上池モトクロス場跡地整備地の
アレチウリ・セイタカアワダチソウ
・ハリエンジュ・シンジュ等
:協議会委員が実施

⑦中池保全エリアの植生管理
:協議会委員が実施

⑨看板(●)
:協議会委員が実施

⑧移植したハンノキ・整備地周辺のつる性草本
・シンジュ・セイバンモロコシ
:協議会委員、ミドリシジミ観察会参加者が実施

⑥-1上池モトクロス場跡地整備地の
オオカワヂシャの除去等
:生物調査員が実施

③上池旧流路整備地の
オオカワヂシャ(重点対象)
:協議会委員が実施



航空写真は地理院地図

※①～⑨：前頁の表と対応
(ただし①、②、⑤はH31年度の実施なし)

参考：H30年度の維持管理活動の実績

●H30年度維持管理活動の実績は、以下のとおりです。

<H30年度の維持管理計画と対象箇所>

※表中 赤文字はH30年度からの維持管理項目、黒文字はH29年度までの実績を継続、青文字は重点候補

地区・管理対象		維持管理	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実施方針	
上池	旧流路整備地	①呑み口	周辺の除草：5～6月の2回												H30は実施なし	
		②導水路	通路付近の除草：5～6月と10月の2回 計40m（通路両側各20m）			●任意				●任意					企業依頼方針 H30は実施なし	
		③整備地	植生管理（オオカワヂシャの除去等）：5月1回			17日										協議会実施
	モトクロス場跡地整備地	④通路	管理用通路の除草（5～6月、10月）モトA周囲			※冠水しており実施不可										本田航空が夏前・中に計2回実施
		⑤柵	周辺の除草：5～6月の2回			中旬	下旬									H30は実施なし
		⑥-1 整備地	植生管理（オオカワヂシャの除去等）：5月1回			●										生物調査員が実施
中池	河畔林	⑦保全エリア	植生管理（シンジュ、ハリエンジュ、クワ、在来つる性植物（カナムグラ・クズ）の伐採）：5～6月と10月			17日	27日								協議会実施 （委員会主体で平日）	
		⑧実施計画範囲	移植したハンノキ周辺のつる性草本、シンジュ、セイバンモロコシの除去：5～6月と9月													協議会実施 6月はミドリシジミ観察を同時に実施
全体	維持管理検討のための巡視	巡視ルートを巡視し、次年度の維持管理活動の内容を検討する。											6日		協議会実施	

□：実施済み



※①～⑧：上の表と対応（ただし①、②、⑤はH30年度の実施なし）

参考：H30年度の維持管理活動の総括

●H30年度維持管理活動の総括は、以下のとおりです。

地区・管理対象		維持管理		総括
上池	旧流路整備地	①呑み口	周辺の除草：5～6月の2回	H30は実施なし
		②導水路	通路付近の除草：5～6月と10月の2回 計40m（通路両側各20m）	H30は実施なし
		③整備地	植生管理（オオカワヂシャの除去等）：5月1回	冠水により実施できなかった。引き続きオオカワヂシャは繁茂している。
	モトクロス場跡地整備地	④通路	管理用通路の除草（5～6月, 10月）モトA周囲	本田航空が夏前・中に計2回実施したが、夏季以降は植物繁茂により通行できない状態となっていた。
		⑤柵	周辺の除草：5～6月の2回	H30は実施なし
		⑥-1 整備地	植生管理（オオカワヂシャの除去等）：5月1回	オオカワヂシャの繁茂は引き続き抑制できている。
モトクロス場跡地整備地	⑥-2 整備地	植生管理（セイタカアワダチソウの除去等）：5～6月と10月	モトD見晴台	シンジュ、ハリエンジュの増加・拡大は抑制できているが、現状維持に留まっている。セイタカアワダチソウ等の草本類は、引き続き分布はしているが現状は維持されている。アレチウリの侵入が顕著となった。
	⑥-3 整備地	植生管理（オオバタクサ、アレチウリ、セイタカアワダチソウ、シンジュ、ハリエンジュ、クワ、在来つる性植物（カナムグラ・クズ）の除去等）：5～6月と10月	モトA・モトD全般等	
中池	河畔林	⑦保全エリア	植生管理（シンジュ、ハリエンジュ、クワ、在来つる性植物（カナムグラ・クズ・ツタ類）の伐採）：5～6月と10月	通路沿いと広場にオオバタクサが大繁茂したほか、広場部分ではクズ等のつる性草本も繁茂し、年数回の除草では抑制できなかった。
下池	ハンノキ移植地	⑧実施計画範囲	移植したハンノキ周辺のつる性草本、シンジュ、セイバンモロコシの除去：5～6月と9月	作業は秋1回となったが、次年度のハンノキ生育開始には影響が出ない状態を維持できた。セイバンモロコシは懸念された増加は認められなかった。
全体	維持管理検討のための巡視	巡視ルートを確認し、次年度の維持管理活動の内容を検討する。		—



※①～⑧：上の表と対応（ただし①、②、⑤はH30年度の実施なし）

H31年度の維持管理活動計画（案）に関する協議会への提案事項

- H31年度維持管理作業は、維持管理・環境管理専門委員会で検討した計画（案）で実施する。
 - ・H30年度と同様の維持管理活動を継続
 - ・不足した部分や新たに必要な作業を追加

2. H31年度以降の工事について

①. 下池のハンノキ林再生を目的とした掘削

(1) 下池整備の目的とこれまでの経緯

【下池整備の目的（実施計画書より）】

- 『高木・壮齢樹化しているハンノキ等の河畔林においては、間伐、下刈り、盤下げ、移植等を行うことにより、ハンノキ等の河畔林の萌芽、生育適地についての知見を得るとともに、多様な樹齢の樹木が生育する河畔林を保全・再生する。』

【下池整備地の掘削場所・深さの決定】

- 第29回協議会において下池整備地の掘削場所が、第40回協議会では掘削高が承認されました。

掘削場所：シンジュとマダケの繁茂が著しく、放置できない場所（現在の掘削予定範囲）

掘削深さ：下池試験掘削地（H26整備）の3段階の高さのうち、中段の高さ

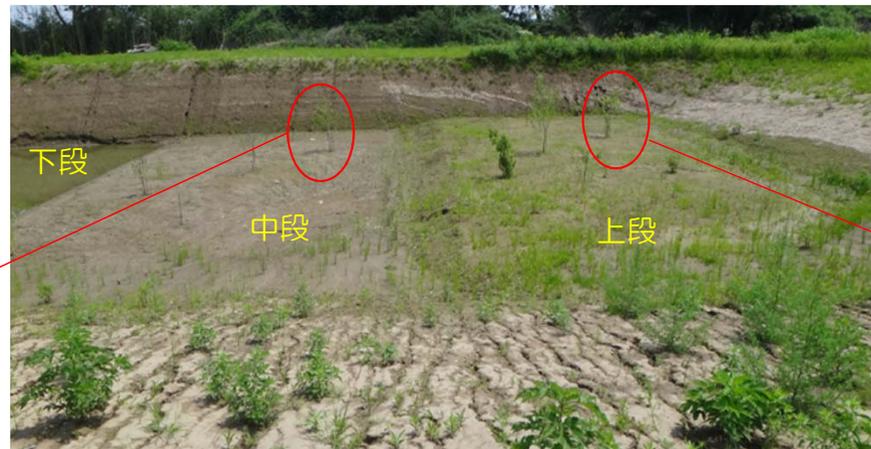
⇒下段は常時冠水しているため生育不可であり、上段ではハンノキ幼木の生育を阻害する他の植物の侵入が想定されたことから、中段を基本的な掘削高さとする事が決定しました。

下池試験掘削地におけるハンノキ育成試験



下池試験掘削地（中段）に
試験移植したハンノキ

※この高さを基本的な掘削高さとする事が決定しました。



平成27年6月15日撮影



下池試験掘削地（上段）に
試験移植したハンノキ

※ハンノキ自体は成長しましたが、ハンノキ幼木の生育を阻害する植物の侵入が想定されました。

(1) 下池整備の目的とこれまでの経緯

【H28年度の掘削】

- H28年度から、下池整備地の掘削が開始されました。
しかし、コンクリートガラ等の廃棄物が出てきたため、予定どおりの掘削ができませんでした。
- これを受け、第45回協議会では、「下池の掘削は、予算の範囲内で効果的な整備を行うために、コンクリートガラ等のゴミが埋まってない他の場所を掘削する」との方針が出されました。

【H29年度の掘削】

- 試掘により、廃棄物が埋設されていないことを確認したうえで、水路に接続するよう上流側から掘削を行いました。

非表示

(2) H30年度以降下池掘削予定範囲の植物相確認と配慮方針

【H30年度以降掘削予定範囲における植物への配慮方針検討】

- 生物調査員による樹木確認を2回実施しました（4/12と5/14）。また、委員による現地確認を1回実施しました（5/17）。
- この結果を踏まえ、第30回委員会（6/14）では、「予定通り掘削する場合、移植すべき対象や掘削土砂の埋土種子利用の可能性があると想定されるため、低木や草本を含めた植物相全体の情報を確認しておく。
- 再度、委員による現地視察を実施し（7/20）、同日に開催した第31回委員会において、H30年度以降の掘削予定範囲における在来種への配慮方針を決定しました。

一部非表示

- 第32回委員会（9/4）で上記を再確認し、第48回協議会（10/16）に提案し、了承されました。

<委員による現地確認>

非表示

(3) H30年度工事における植物への配慮

●工事業者と事務局による確認の結果、最終的な植物への保全対応は以下のとおりとなりました。

非表示

非表示

(4) H30年度工事の掘削状況

●H30年度掘削は、予定通りH30年内に終了しました。

非表示

報告：2月6日巡視後に実施したハンノキの幼木移植

- 下池試験掘削地（H26年度掘削）に試験移植したハンノキの周辺に確認された幼木14本を、下池整備地（H28～30年度掘削）に移植しました。

非表示

(5) H31年度以降の工事の予定範囲と植物への配慮

●前記のとおり、H31年度以降の掘削範囲は、以下の在来種への配慮方針に基づいて決定しました。

非表示

非表示

②. 課題のある箇所の追加整備について

課題のある箇所の追加整備について

●巡視（2月6日）及び第34回委員会（2月7日）で追加実施すべき維持管理作業を確認・検討しました。

また、太郎右衛門自然再生地での工事は来年度が最終となる予定ですので、追加で整備することが望ましい箇所についても確認・検討しました。

- ・周辺への供給源となってしまう外来種の大木など、通常の維持管理での対応が難しいものは伐採・伐根することが考えられます。
- ・安全確保のために柵などが必要な場所にはこれを設置（再設置）することが考えられます。
- ・維持管理・利用のために必要な整備を加えることが考えられます。

⇒ 詳細は、今後の維持管理・専門委員会で検討を進めていきます。

	:維持管理作業で対応を検討
	:工事で対応を検討
	:外部へ協力を依頼することを検討



課題のある箇所の追加整備について

●P18の追加で検討する維持管理・整備の内容を表に整理しました。

表 追加で検討する維持管理・整備の内容

エリア	対応の種類	地点	内容
上池	工事	①モトクロス場跡地整備地A	ハリエンジュの大木を伐採・除根する。
		②モトクロス場跡地整備地D	これまで維持管理活動をしてきたシンジュ群落を伐採・除根する。
		③モトクロス場跡地整備地A・D、看板周辺	出水で乱れた柵を復旧する。新たな柵は、高さが低く、番線ではなくロープが良い(ホンダエアポート側に設置のものと同様のもの)。
	維持管理	④上池旧流路整備地	・延命地蔵尊付近のシュロ・トウグワを伐採する(かわじま輪中WG時)。 ・延命地蔵尊付近の樹木のズメバチが造巣した箇所を塞げると良い。
		⑤導水路付近	導水路の説明板の周辺を除草する。
		⑥モトクロス場跡地整備地A	モトA・H23整備地の管理用通路は、可能な範囲で維持管理の頻度を上げられると良い。
中池	工事	⑦広場	トウグワや広範囲に繁茂するクズ等を除去・除根する。
		⑧管理用通路沿い(水辺付近)	水辺付近のシンジュ群落を伐採・除根する。
		⑨管理用通路沿い(下流側)	下流側の通路沿いに並んで生えている、トウグワやシンジュを伐採する。
		⑩堤防付近	富士山への見通しを遮っている2本の樹木のうち、1本(クヌギ)は枝打ちする。もう1本は種類が判明してから対応を検討する。
	維持管理	⑪管理用通路(短絡路)	短絡路上に伸びているクズを除去する。
下池	維持管理	⑫看板周辺	看板周辺のシュロを伐採する。
		⑬「特定の場所」(フジカンゾウ生育場所)	フジカンゾウ生育場所周辺のタケ類を除去する。
		⑭下池整備地付近	掘削土砂仮置場やその周辺のオープンスペースの管理・活用方針を検討する。
全域	外部へ協力を依頼	⑮看板	看板周辺の除草を、周辺の地元の方にお問い合わせできると良い。

課題のある箇所の追加整備について

●2月6日の巡視で確認した追加で対応を検討する箇所の状況です。

<上池> ※丸囲みの番号は19の表と対応

工事で対応を検討



①モトA・H23整備地のハリエンジュの大木



②モトD整備地のシンジュ群落



③台風で乱れた柵(左)と今後使用を検討する柵(右)

維持管理作業で対応を検討



④上池旧流路整備地(延命地藏尊付近)のスズメバチ造巣跡と外来樹木



⑤導水路付近の看板周辺の植生



⑥モトA・H23整備地の管理用通路の植生

課題のある箇所の追加整備について

● 2月6日の巡視で確認した追加で対応を検討する箇所の状況です。

<中池> ※番号はP19の表と対応

工事で対応を検討



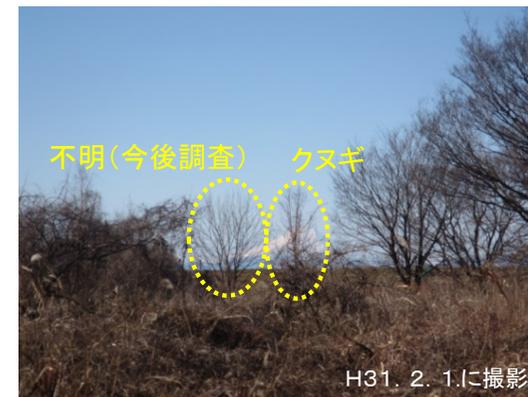
⑦広場に繁茂する在来つる性草本やトウグワ等



⑧水辺付近のシンジュ群落



⑨管理用通路沿い(下流側)のトウグワやシンジュ(クヌギ等の在来種は存置)

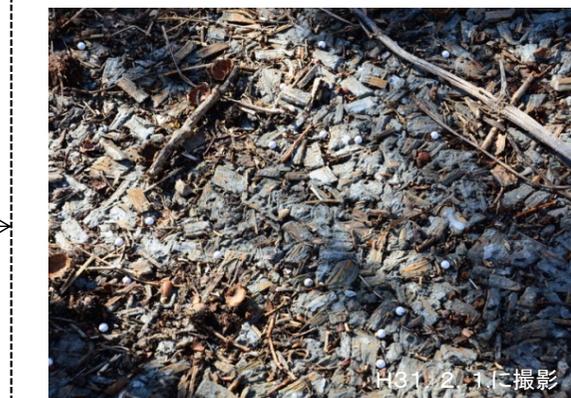


⑩堤防付近の富士山への見通しを遮っている樹木

維持管理作業で対応を検討



⑪管理用通路上(短絡路)に伸びているクズ



※中池管理用通路の出口付近に、下草が刈られた開けたスペースが出来ていました。通路上には、サバイバルゲームをした跡と思われるBB弾が落ちていました。

課題のある箇所の追加整備について

- 2月6日の巡視で確認した追加で対応を検討する箇所の状況です。

<下池> ※番号はP19の表と対応

維持管理作業で対応を検討



⑬「特定の場所」(フジカンゾウ生育場所)周辺のタケ類



⑭掘削場所付近のオープンスペース



H30年度H31年度以降の工事に関する協議会への提案事項

- H31年度の下池掘削は、第48回協議会（平成30年10月16日）で承認された植物への配慮方針に基づき、細部は維持管理・環境管理専門委員会で確認しながら実施する。
- 追加で整備する箇所・維持管理作業する箇所の詳細は、今後、維持管理・環境管理専門委員会で検討し、実施する。

3. マーケットリサーチについて

(1) H30年度のマーケットリサーチ

●マーケットリサーチについては、以下の通り進めて報告することとなっています。

①年間計画をもとに適宜前倒ししながら進める。

②年間計画に関わらず、適宜、各委員が独自にリサーチ対象にアプローチする。

●前回の会議以降、以下の対応をしました。

1) T小学校へ訪問 (H30年12月6日)

2) エコプロ2018への参加 (H30年12月7日)

3) エコプロ出展学校への訪問 (H31年1月30日)

スケジュール (当初の年間計画)

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
			●A社調整 ●川島町役場調整	●A社訪問 ●川島町役場訪問			●川島町の商業・工業関係団体訪問	●エコプロ2018			



スケジュール (実績・予定)

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		5日 : 川島町の商業・工業関係の団体	3日 : J大学、P社			2日 : T小学校		6日 : T小学校 7日 : エコプロ2018	30日 : T専門学校		

(2) エコプロ2018の訪問

- エコプロ2018に12月7日(金)10時~14時頃に訪問しました。
- 名刺、パンフレット(既存のもの)、マップ(イベント時に作成したもの)、チラシ(今回用に作成したもの)を訪問先で適宜配布し、事業への協力を頂ける可能性について探りました。

<エコプロ2018の開催概要> 出典: <http://eco-pro.com/2018/>

【開催日】 2018年12月6日(木)~8日(土)
 【会場】 東京ビックサイト 東ホール
 【出展規模】 538社・団体 / 1, 295小間
 【来場者数】 162, 217人



<今回用に作成したチラシ>

未来の“ありがとう”を一緒に。
 荒川太郎右衛門地区自然再生事業に参加しませんか?

荒川太郎右衛門地区自然再生事業は「誰でも」「気軽に」「継続的に」参加できる環境保護活動です!

- 参加目的や規模などご要望にあわせた内容の活動が可能
- 当協議会が提供するサポートは費用不要気軽に参加できます
- 都心から現地まで車で約1時間30分と継続的な活動に便利

自然再生推進法(初登録地) 太郎右衛門自然再生地

当事業は埼玉県川口市内に位置する長さ約4km・最大幅1.6kmに渡る河川敷「太郎右衛門自然再生地」を自然再生させる事業で、NPOや専門家、地域や企業などが積極的に環境保護に取り組む自然再生推進法の「初登録地」でもあります。荒川の旧流路の復元に始まり、湿地の再生工事や河川林保全・再生を行い、当事業に参加しているメンバーが協働で「ミドリジミ」の幼虫の餌となる「ハンノキ」移植や外来植物の駆除、河畔の清掃を行うなど、継続的な自然再生を促進するため、さまざまな環境保護の活動を展開しています。

一緒に活動していただけるパートナー企業さまを、当協議会がサポートします!

設立	2003年7月5日	協議会メンバー(組織) (33名)	2018年12月現在
学識委員	大学教授等.....4名	埼玉工業大	
学識委員	NPO代表者.....11名	川崎市、川島町、上野市、行政機関	
学識委員	川島町、川島町、上野市、行政機関		
学識委員	川島町、川島町、上野市、行政機関		

自然再生推進法「初登録地」での環境保護活動
 ~荒川太郎右衛門地区自然再生事業~
パートナー企業募集中!

荒川太郎右衛門地区自然再生事業では、パートナー企業さまの目的や規模などに合わせ、お気軽に参加いただけるよう協議会が共に活動をサポートいたします。都心からのアクセスも良く、年間を通して活動しやすい自然あふれる「太郎右衛門自然再生地」で、一緒に環境保護活動を始めませんか?

参加目的や規模にあわせた活動が可能
 参加目的や規模、人数、経験・年齢・性別などのご要望、ご都合にあわせたプランのご提案など、共に考え活動をサポートします。

都心からのアクセスも便利
 多様な生物が共存し自然あふれる場所でありながら、都心から車で約1時間30分の好立地。年間を通して活動しやすい場所にあります。

お気軽にお問い合わせください。太郎右衛門自然再生地の見学案内も受付中!

お問い合わせ先 ▶ 荒川太郎右衛門地区自然再生協議会 運営事務局まで (埼玉上野市) 電話: 049-220-0145 FAX: 049-247-9850 E-mail: ktr-tarou@mitl.go.jp

https://sites.google.com/site/taroumonrakawu/ https://www.ktr.mtl.go.jp/anj/forajo_index025.html

<エコプロ2018の訪問結果>

参加者	結果	備考
堂本委員長 川島副委員長 宮川委員 事務局	① すぐに協力を頂ける企業は見つからなかったが、学校の中には協力を頂ける可能性のあるところがあった。 ② 上記を含め、3の企業と1つのNPO、8つの大学・専門学校の関係の方と名刺交換を行った。 ③ 協力を得られる企業や大学が関東近辺にある可能性はあると考えられた。	名刺交換先以外を含めて計22の出展者を訪問した。



名刺を交換した企業や学校等に関しては、イベント等の際にお知らせをお送りします。

(3) エコプロ2018出展学校への訪問

●エコプロ2018で名刺交換したT専門学校に1月30日(水)17時頃に訪問しました。

通算	実施概要	結果
1回目	平成31年1月30日 出席者 (T専門学校) ・社会活動推進室長 ・社会活動推進室統括 (協議会) ・堂本委員長 ・事務局	【T専門学校】 <ul style="list-style-type: none"> ・今の学生は「ゆとり世代」と呼ばれ、学校の授業で自然にも触れているので、太郎右衛門自然再生地に興味を持つ学生はいると思う。ただ、学生は授業とアルバイトでとても忙しい。 ・産学協同のパートナーは民間企業のほか、社団法人、商店会、警察署など様々。依頼の内容は、映像資料制作、案内ポスター、パンフレットなど媒体を指定してデザインを行う場合や、何かお題を与え学生たちがーから考えデザインを行う場合、等がある。 ・産学協同の方法は、大きく以下の2つがある。 <ul style="list-style-type: none"> ①社会活動推進室にエントリーしている学生に呼びかけ ⇒有志による活動のため、作品が出揃わない可能性あり。 ②企業活動に取り組む「プラスワン講座」で作品制作 ⇒講師による講座で、15名程度の学生が課題として作品を制作。 同講座は5、9、12月に1回ずつ開催され、各月に90分×4回ずつ実施。実社会の課題に取り組んだ経験は、学生たちが就職活動をする際のアピールポイントになる。 ・現時点で、直近5月の②「プラスワン講座」はテーマが決まっていない。5月に行うならば、テーマ、条件、制約事項などを早々に決めていく必要がある。

(4) T小学校の訪問

● T小学校の訪問結果です。

通算	実施概要	結果
1回目	平成30年10月2日 出席者 (T小学校) ・校長先生 ・教頭先生 (協議会) ・堂本委員長 ・事務局	【T小学校】 ・来年度、荒川太郎右衛門地区自然再生協議会と連携していきたい。 ・現地が近いことから、児童たちが興味を持つ可能性がある。 ・現地への移動は、スクールバスを使用することが可能である。 ・現地に行き、(遊びも含めて)自然に触れながら、生態系の学習を実施したい。
2回目	平成30年12月6日 出席者 (T小学校) ・校長先生 ・教頭先生 (協議会) ・堂本委員長 ・事務局	

(5) H31年度のマーケットリサーチ (案)

- H30年度のマーケットリサーチの結果、T小学校およびT専門学校と今後の展開が期待できる接点を得ることができました。
 - H31年度は、これらの学校に実際にご協力いただけるよう、先方への具体的な提案や協議を進めていきます。
- 同時に、新たなリサーチ対象の開拓を進めていく必要があります。
 - エコプロ2019を訪問し、ご協力いただけそうな企業・学校・団体等を探ります。
 - 各委員の方は、年間計画に関わらず、適宜、独自にリサーチ対象にアプローチをお願いします。

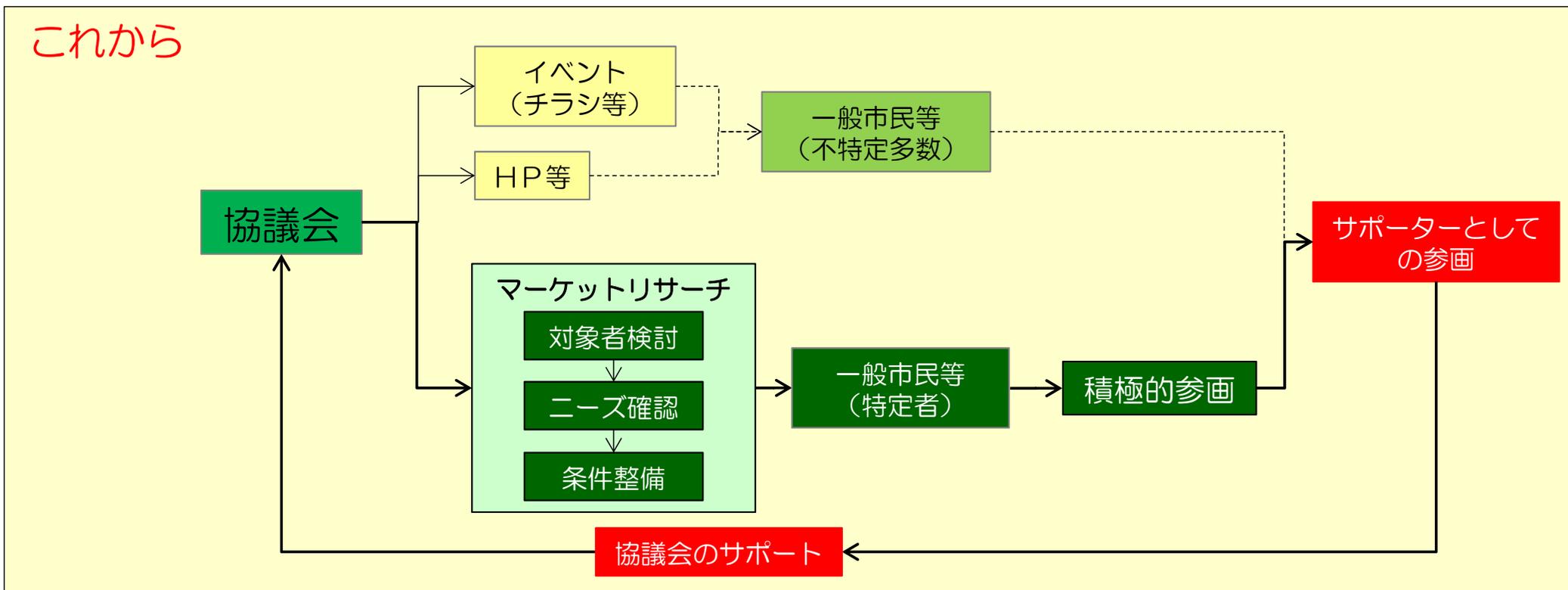
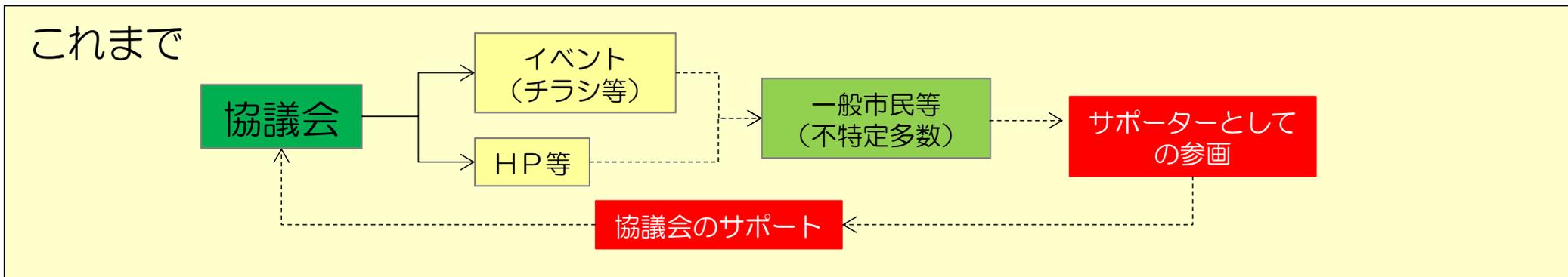
スケジュール (案)											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	●T小学校による活動①				●T小学校による活動②			5日(木)～7日(土) エコプロ2019	●T小学校による活動③		
T専門学校への提案・協議											
各委員が独自にリサーチ対象にアプローチ											

<エコプロ2019の開催概要>

- 【開催日】 2019年12月5日(木)～7日(土)
- 【会場】 東京ビックサイト 西・南ホール
- 【出展規模】 550社・団体 / 1,350小間(見込み)
- 【来場者数】 170,000人(見込み)

出典：<http://eco-pro.com/2018/outline/001304.html>

- 太郎右衛門地区における維持管理を行うためには、協議会の委員および関係団体のみでは十分な体制とならないため、**協議会の外部協力者の参画**を求めています。
- 参加して頂けそうな近隣地域の団体・企業をあらかじめ想定し、これらの方々が**参加しやすい条件を整える**ため、対象者の「ニーズ」についての「**マーケットリサーチ**」を行います。



マーケットリサーチに関する協議会への提案事項

- H31年度のマーケットリサーチは、維持管理・環境管理専門委員会で検討した計画（案）で実施する。
 - T小学校、T専門学校への具体的な提案や協議を進めていく。
 - エコプロ2019を訪問する。
 - 各委員には、年間計画に関わらず、適宜、独自にリサーチ対象にアプローチをお願いします。